

2018年11月2日(金)

18:30~20:40

定員 | 600名 ※要事前申込/先着順

参加費 | 無料 手話通訳あり

会場 | 日経ホール 東京都千代田区大手町1-3-7
日本経済新聞社ビル3階

音楽

▲ しょうぶ学園(鹿児島)の otto & orabu

▲▼ 札幌国際芸術祭2017「さっぽろコレクティブ・オーケストラ」
小牧寿里 撮影(札幌国際芸術祭実行委員会 提供)

共創 社会

講演1 ◆ 寺田 吉孝(国立民族学博物館)

「アリラン峠を越えていく」

— 在日コリアンの音楽が伝えるもの —

講演2 ◆ 中村 美亜(九州大学大学院芸術工学研究院)

「共創する音楽 — 多様な人たちの共生のかたち」

パネルディスカッション ◆ 寺田 吉孝 × 中村 美亜

総合司会 ● 河合 洋尚(国立民族学博物館)



◀ バンソリ唱者 安聖民

主催



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

日本経済新聞社

これまでの共生をめぐる議論で軽視されてきた音楽活動に焦点をあて、共生実現のために果たしうる役割と可能性を探ります。音楽は、舞踊、芸能、演劇などとともに身体を基盤とする活動で、人間の感情に大きな影響を与えることが報告されてきました。しかし、その力は人々を結びつける可能性をもつ反面、分断するために利用されてきたことも事実です。音楽が共生に寄与する枠組みや条件とは？

総合司会 ● 河合 洋尚(国立民族学博物館・准教授)

18:30-18:35 開会の挨拶 西島 広敦(日本経済新聞社大阪本社・編集局局長)

18:35-18:40 館長挨拶 吉田 憲司(国立民族学博物館・館長)

18:40-19:15 趣旨説明 及び

講演1◆ 寺田 吉孝(国立民族学博物館・教授)

「アラン峠を越えていく

—在日コリアンの音楽が伝えるもの—

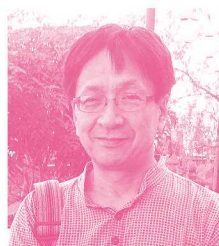
19:15-19:50 講演2◆ 中村 美亜(九州大学大学院芸術工学研究院・准教授)

「共創する音楽 —多様な人たちの共生のかたち—

19:50-20:05 休憩

20:05-20:40 パネルディスカッション◆ 寺田 吉孝×中村 美亜 司会:河合 洋尚

20:40 終了



講演
1

寺田 吉孝

ワシントン大学音楽部博士課程修了。マイノリティ集団の音楽文化に関する映像番組の制作に関わりながら、音楽研究における映像音響メディアの可能性を検討している。制作番組に「怒一大阪浪速の太鼓集団」(2010年)、「アラン峠を越えていく—在日コリアンの音楽」(2018年)などがある。

● 講演要旨

在日コリアンが演奏する多様な音楽は、娯楽として享受されるとともに、コミュニティの記憶や、マイノリティとして生きる個人の生活体験を表現する場となってきた。在日コリアン音楽家たちの活動を映像音響メディアで記録・共有するプロジェクトの内容を紹介しながら、音楽が共生の実現に寄与する可能性を探りたい。



講演
2

中村 美亜

芸術活動によるエンパワメントや社会変容の仕組みに関する研究、また、その知見を生かした文化政策の提案を行っている。ジェンダーやセクシュリティに関する著作も多い。単著に「音楽をひらく—アート・ケア・文化のトリロジー」(2013年、水声社)、編著に「ソーシャル・アート—地域と社会をひらく」(2018年、水曜社)などがある。

● 講演要旨

近年、障害をもつ人と支援者のコラボレーションや、多様な背景をもつ子どもたちのアンサンブルなど、従来にはなかった共創的な音楽活動が盛んになっている。これらには、参加者たちが、瞬間瞬間における相互の関わりを通じて、対等に、未知の音楽を創造するという特徴がある。共創する音楽を通して、社会における共生について考えていきたい。



総合
司会

河合 洋尚

中国南部における文化的景観の創出について、人類学の視点から調査研究を行っている。近年は環太平洋の漢族も調査の対象としている。著書に「景観人類学の課題—中国広州における都市環境の表象と再生」(2013年、風響社)、論文に「中国広州市における「私伏局」ブームの一考察—本地人と客家人によるサウンドスケープの再生」(2008年、「民俗文化研究」9号)などがある。

◆ 申込方法:

申込フォームの場合

国立民族学博物館

クリック

国立民族学博物館のホームページ内にある申込フォーム画面に従って必要事項をご入力ください。

<http://www.minpaku.ac.jp/>

往復はがきの場合

※申込締切日 10月26日(金)

消印有効

往信の宛名面	返信の文面	返信の宛名面	往信の文面
〒565-8511 国立民族学博物館 研究協力課		ご自分の 住所・氏名	①郵便番号 ②住所 (返信用宛名面にも) ③年齢(任意) ④電話番号 ⑤参加者氏名 (本人を含め5名まで) ⑥11月2日 公開講演会

往信面に下記①から⑥と返信面に申込者の住所・氏名をご記入のうえご応募ください。

①郵便番号 ②住所(返信用宛名面にも) ③年齢(任意) ④電話番号

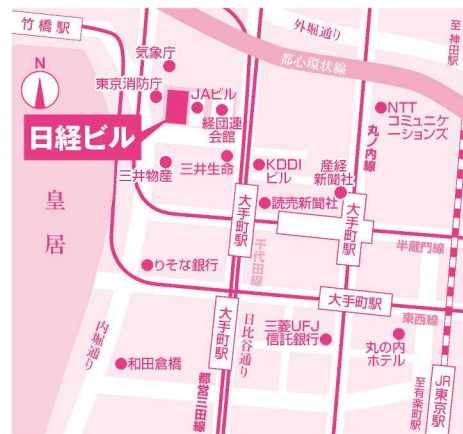
⑤参加者氏名(本人を含め5名まで) ⑥11月2日公開講演会

【宛先】〒565-8511 吹田市千里万博公園10番1号 国立民族学博物館 研究協力課

※参加申込された方の個人情報は本講演会のみで使用いたします。

◆お問い合わせ先:国立民族学博物館 研究協力課 TEL 06-6878-8209

FAX 06-6878-8479



● 東京メトロ

- ・千代田線「大手町駅」神田橋方面改札より徒歩約2分
- ・丸の内線「大手町駅」サンケイ前交差点方面改札より徒歩約5分
- ・半蔵門線「大手町駅」皇居方面改札より徒歩約5分
- ・東西線「大手町駅」中央改札より徒歩約9分
- 「竹橋駅」4番出口より徒歩約2分

● 都営地下鉄

- ・三田線「大手町駅」大手町方面改札より徒歩約6分
- 地下鉄「大手町駅」下車C2b出口直結